

公共下水道事業経営戦略の改定について

令和6年7月
白岡市上下水道部

公共下水道の役割

- 下水道は、汚水排除による悪臭や伝染病予防などの公衆衛生の向上の他、海や川などの水質保全、浸水防除等、不特定多数の住民や広域的な環境に便益・効果が及ぶ重要な役割を担っている。

浸水防除	公衆衛生の向上	公共用水域の水質保全
 大阪府寝屋川市 (平成24年8月)  雨水貯留管の整備 都市に降った雨の排除により、浸水被害を防除。その便益は不特定多数の人々に及ぶ。	  市街地に汚水が滞留しないよう、汚水を排除し、公衆衛生を確保。その便益は不特定多数の人々に及ぶ。	▼ 紫川（北九州市）の事例  下水道普及前（昭和50年代前半）  下水道普及後（平成27年） 汚水を適切に処理することで、河川、海域等の水質を保全。その便益は、不特定多数の人々に及ぶ。

国土交通省「人口減少下における維持管理時代の下水道経営のあり方検討会」第1回資料より抜粋

経営戦略について

施設の老朽化

- ・供用開始から30年以上
- ・機械・電気設備の更新

管路の劣化の例



破損した管路

浸入水

処理場設備の老朽化の例

ポンプ設備

流入ゲート



ポンプ本体(内部軸受)の劣化

腐食が進行し開閉に支障

国土交通省「ストックマネジメントについて」より抜粋

一般会計への依存

- ・独立不採算
- ・基準外繰入金
- ・一般会計の財政状況の悪化



多くの懸念を抱える中、
将来に渡って経営を続けていくため
・中長期的な視点に基づく財政計画
・経営改善のための方針・取組
などを定めた経営戦略を策定した。

経営戦略の改定の必要性について

計画上の改定時期は令和7年度

図表 1-3 経営戦略の計画期間



計画策定(令和2年度)以降の大きな環境変化

- ・2段階の料金改定による収益の増加
- ・生活様式の変化、人口増加傾向の落ち着きによる排水量の減少
- ・物価高騰による費用増加
- ・県流域下水道維持管理負担金の改定(令和7年度に向けて検討中)

経営環境の大きな変化により、令和2年度に策定した計画と大きな乖離が生じたため、

改定時期を1年前倒しし、環境変化に的確に対応する。

その他の経営戦略改定理由

国庫補助金(社会資本整備総合交付金)の交付要件

令和2年度の経営戦略策定時点でも、5年毎の料金改定などについて要件になっていたが、令和7年度からは、経営戦略について、より具体的な記載内容について要件になる(申請時点で要件を満たす必要があるため、令和6年度末までに要件を満たす必要がある)。

国庫補助金の具体的な交付要件

- ・健全化に向けた定量的な業績指標と目標年限
- ・経費回収率向上に向けた具体的取組と実施時期
- ・収支構造適正化に向けた少なくとも5年毎の検証・見直し

【参考】国庫補助金の交付実績

年度	交付額	主な事業
R3	106, 200千円	汚水幹線工事、マンホールトイレ設置
R4	145, 565千円	汚水幹線工事、マンホールトイレ設置、ポンプ場改築
R5	117, 800千円	汚水幹線工事、ポンプ場改築

改定の内容・方針、スケジュール

改定の内容・方針

- ① 前期期間の投資・財政計画と決算の予実分析による中間検証を行う。
- ② 経営課題や基本方針の軸は既存の計画を踏襲しつつ、公営企業法適用後の最新の決算データを用いた現状分析を行う。
- ③ 近年の経営環境変化を考慮して投資・財政推計を改定する。
- ④ 国庫補助金(社会資本整備総合交付金)の要件に適合した、具体的取組や目標などの必要事項を追加する。

審議会スケジュール(案)

	予定時期	内容
1	令和6年8月	中間検証報告、戦略改定(案)
2	令和6年9月	修正後経営戦略改定(案)
3	令和6年10月以降	パブリックコメント